

6 本時の学習

感じたこと見つけたことを伝え合いながら、作品の意図や表現のよさに気づくことができる、鑑賞と表現の一体化をめざした授業

- (1) 目標
作品の相互鑑賞会をすることで、友達の作品のよさに気づき、自分の作品にいかしていくことができる。
- (2) キャリア教育との関連
お互いを感じたことを伝え合う活動を通して友だちの見方や感じ方を尊重する態度の育成やシンボルマークの意図を理解しようとする能力を育てる。
【人間形成能力及び情報活用能力】
- (3) 準備・資料
児童：ファイル、作品、ワークシート、図画版
教師：学習計画と活動一覧表、カラー工作用紙、話し合いマニュアル、付箋
- (4) 展開
◎キャリア教育の視点に迫るための手立て

学習活動・内容	活動への支援及び評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。 (1) 活動の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">話し合ってみよう。伝え合ってみよう。作品のいい所！！</div> <p>(2) 話し合いの進め方について知る。 ・5人グループの確認 ・話し合いの進め方の確認</p> <p>2 「石下小環境改善マーク」について話し合う。 (1) 話し合いの進め方について知る。 ・何のマークか ・何の色か ・大きさ(形)についてどう思うか。</p> <p>(2) 全員が鑑賞が終わったら付箋を交換する。</p> <p>(3) もらった付箋から、フリーペーパーの色やデザインなど、何を参考にしたいところをスケッチしたり、加筆したりする。</p> <p>3 話し合いの進め方について知る。 ・話し合いの進め方について知る。 ・話し合いの進め方について知る。</p> <p>4 次時の学習を知り、後片付けをする。</p>	<p>・本時は、第一段階で仕上がったマークについて鑑賞会をすることで、作品のよさを見つけていく活動である。</p> <p>・5人グループは、予め決めておき、速やかに活動に移るようにする。</p> <p>・机を整理し、「書く」のけじめをつける。</p> <p>・話し合いのマニュアルに沿って、司会者が時間を進めたり、相手を中傷するような言動にならないよう注意を促す。</p> <p>・ふいふい鑑賞の大切さを助言する。</p> <p>・自分の作品についてクイズ形式で話し合うことにより、必然的に鑑賞のポイントが絞られ、話し合いの活動が楽しく活発に行われるようにさせる。</p> <p>◎質問に対する答えが上手に見つからない児童に、賞ポイントカードを上手に活用するように【関心・意欲・態度】(活動観察)</p> <p>B：見つけたことを、感じたことを意欲をもって伝え合うことができる。</p> <p>C：付箋紙に書いたコメントを読み上げて伝えていいことを励ましメモで支援する。</p> <p>・せっかくの友だちからの答えが消えてしまわないように、見つけたことを書いてくれた付箋を交換し合うことで、話し合いの足跡を残したい。</p> <p>・自由に話し合う場面なので、やや賑やかになることが予想されるが、話題からそれていないかどうか気を付けて机間巡視しながら支援する。</p> <p>・全体を机間指導し、児童の活動の様子にあった4つの支援を行う。</p> <p>① 賞賛情報・「素晴らしい作品だね。」と活動の意欲を高めるための支援。</p> <p>② 示唆情報・「この表現はあなたのイメージに合ったよ。」と活動の方向性や表現方法の選別を指示し、表現意欲の向上を図る。</p> <p>③ 共感情報・「先生も同じ考えだよ。」と児童の活動に共感し、活動の後押しをする支援。</p> <p>④ 未来情報・「このままつくっていくとこんな感じの作品になると思うよ。」と表現のゴールを想起させ見通しをもたせる支援。</p> <p>・作品は、つくりながら新しい発想を自由に取り入れたいことを支援する。</p> <p>◎【鑑賞の能力】(活動・作品)</p> <p>B：鑑賞した話し合いの内容から自分の作品の改善点を見つけることができる。</p> <p>C：ヒントスケッチで個別に支援する。</p> <p>・次時は、それぞれの作品を完成させて、実際に校内に掲示することを知らせ意欲の継続を図る。</p>